

## 洪水発生を想定し危機管理演習実施！

1月26日に子吉川の洪水被害発生を想定した危機管理演習を実施しました。演習は国土交通省、秋田県、由利本荘市の職員59名が参加し、ロールプレイング方式で実施しました。ロールプレイング方式とは、事前に演習者にはシナリオを知らせず、随時与えられる本番同様の情報をもとにそれぞれの班の役割をこなす訓練です。

今年は降雪が多く、融雪による洪水発生が想定されます。本番に備えた確かな情報収集と災害発生時の迅速な対応など、各部署の役割を確認しました。



▲演習の様子（災害対策室）



▲演習の様子  
（ホワイトボードへ状況を書き出し）



▲演習の様子（由利本荘市ブース）



## 子吉川防災ステーションの災害対策車

洪水や地震等の災害時に国民の生命、財産を守るために活躍する災害対策車（照明車、排水ポンプ車、土のう造成機）を紹介します。これらの災害対策車は子吉川出張所が管理する子吉川防災ステーションに格納されており、予期せぬ災害発生時にいつでも出動できるよう整備を行っています。

### ① 照明車

照明車は、災害現場や作業現場内の照明作業、土のう造成機等の電源供給を行う車両です。災害の発生は昼間だけでは限りません。夜間、緊急的に災害復旧をするときに出勤し、安全で的確かつ迅速な災害復旧作業を支援します。子吉川防災ステーションには2台配備されています。



### ② 排水ポンプ車

排水ポンプ車は、トラックに発電機、ホース及びポンプを搭載しています。洪水時に住宅地や田んぼに溜まった水を川へ排水する作業にあたります。子吉川防災ステーションには2台配備され、このうちの1台は、25メートルプールの水を10分程度で空にする能力があります。



### ③ 土のう造成機

土のう造成機は、洪水時の水防活動等に必要なたのうを、人力に代わり機械を用いて大量に造成する時に活躍します。土のう袋セットは人間が行いますが、土のう袋への土詰め、結束、搬出までの一連作業は自動で機械が行い、その能力は1時間に280袋を造成することが可能です。



◎ご意見・問い合わせ先  
由利本荘市石脇字田尻29  
子吉川出張所 『せせらぎ通信』担当  
電話 0184-22-6360  
HP <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/>